

こんにちは、エフエムわいわいです。

2017年もあっという間に4月を迎えようとしています。

2016年3月末をもって電波放送は終了したわいわいですが、番組制作やインターネットでの配信、地域イベントへの参加、インドネシアでの取り組みなど、コミュニティメディアとしての活動は、変わらず続けています。

2017年1月17日「1.17KOBEに灯りをinながた」も、ラジオからインターネットでの動画中継に形を変え、みなさまにお届けしました。

現在わいわいは、毎週土曜日が本放送日および事務所開所日です。

22の番組、5つ(もうすぐ7つ!)の言葉で、わいわいらしい多様な番組をお届けしています。

土曜日12時からの1時間は、わいわいの会員やその友人がワンコインで出演できる、その名も「ワンコイン番組」を実施。決まっているのは時間とメインMCだけ、その時々参加者が持ち寄るテーマや時事の話題などを生でお届けしています。出演者はスタジオで出会い、それぞれの視点で語り合います。



ワンコイン番組の守護神「どぐうちゃん」

試験期間中に実験的に始めたワンコイン番組でしたが、まさにわいわいがメディアであり、かつコミュニティの場でもあると実感できる取り組みに変化しつつあります。

日曜日から金曜日までの12時から20時までは、再放送や過去の番組などを中心にお聴きいただくことができます。

運営・事務局スタッフも含め、ボランティアの力で動いているわいわい。番組制作において、スタッフが常にサポートできていた時などとは全く様相が異なります。一方、YYCrew(わいわいクルー)の名称で、ボランティアチームが新しく立ち上がっています。

月に一度のミーティング、日常的な番組管理、機材の調整や整備、ミキサー、音源制作、番組の感想の共有、わいわいやTCCの共有部のお掃除など、それぞれ得意分野、捻出できる時間で、ともにわいわいを作ってくれています。

電波放送を終了しても「少数者の発信の場」「多文化共生のツール」であるわいわいとして、今の形でできることを模索し続けています。

発信したいと思える、受け取りたいと思える、関わりたいと思える場所であれるよう、今年も歩を進めます。

ぜひ2017年もご支援ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い致します。

## わいわいの聞き方

わいわいの聞き方は大きく分けて2種類!



- ① "tcc117.jp/fmyy" を開く。または「FMYY」で検索。
- ② わいわいのホームページ、左側の「わいわいを聞く」ボタンをクリック。
- ③ (一部ブラウザのみ) ダウンロードされたファイルをダブルクリック。
- ④ わいわいをお楽しみください!



- ① Android スマホをお使いの方は「Google Play」、Mac や iPhone をお使いの方は「AppStore」を起動。
- ② インターネットラジオ視聴用アプリの「Tunein」「My tuner Radio」「FM 聴」のなどをインストール。
- ③ インストールされたアプリ内の検索機能を使って、「FMYY」または「FM わいわい」を検索し、タップ。
- ④ わいわいをお楽しみください!

# 2017年3月現在のわいわいを形作るもの

新しくなったわいわいは  
どんな感じ？  
キーワードを集めてみました。

## ▶ YYCrew?

わいわいを一緒につくっていきこうという気概に溢れた人たちの集まり。番組制作に関わる人、事務が得意な人、わいわいに熱い思いを持つ人、参加メンバーは多彩なつわものぞろい。メーリングリストでの情報交換、月一度の全体ミーティングや掃除、日々の事務作業、番組感想共有など、それぞれにできることでわいわいをつくっています。どんなことでも、どんな頻度でも、絶賛参加者募集中！

## ▶ 番組制作者？

社会やコミュニティに対して、伝えたいことや発信したいことを持ち、わいわいで発信することに意味を感じている人たち。テーマや参加者は、様々。2017年3月現在、22の番組が制作され、インターネットを通じて配信されています。

## ▶ 会員？

わいわいの目的である「阪神・淡路大震災の経験をもとに、人種、民族、国籍、言葉、宗教、年齢、性、障がいのあるなしに関係なく、一人ひとりの市民が自分らしく生きていけるように、コミュニティメディアを活用して、声なき声を社会に伝えるとともに、社会の寛容性と多様性を促進し、神戸市長田区から豊かな社会づくりに寄与することを目的とする。」に賛同するみなさん。すべてのわいわい会員とそのお連れさんには、ワンコイン番組への出演権があります！



## ▶ たかとりコミュニティセンター？

阪神・淡路大震災の救援活動を源流に持つ、多文化なまちづくりをともに進める仲間たち。わいわいの拠点でもあり、10の団体がゆるやかにつながるセンターです。それぞれに豊かな活動を行っています。日常のつながりだけでなく、緊急時は一緒に活動をおこなっていきます。

## ▶ 地域？

わいわいの所在地、神戸市長田区で日頃ご縁のあるみなさん。たかとりコミュニティセンターの仲間でもある「野田北部」（夏祭りは8月第1週！）、ネット配信だけになったわいわいを変わずに流し続けてくれる「長田神社前商店街」（イベントも一緒に創っています）、地域住民の交流場所にづかコミュニティセンターでのわいわい配信を開始して下さった「アスタくにづか」——コミュニティメディアとしてのわいわいを大切にしてくださっています。

## ▶ WMIBA?

新しい体制の中で、楽曲の使用許諾方法もガラリと変わったことから、配信に使用できる楽曲が一度はほぼ0になったわいわい。WMIBA（ワールドミュージックインターネット放送協会）さんを通じて、独自制作のミュージシャンの方から、多数の楽曲提供を受け、充実したMusictimeがお届けできています。ご自身で著作権を管理しておられる方からの提供をお待ちしております。

## 番組制作者募集

わいわいでは、活動の趣旨に賛同し、番組を制作して下さる方を募集しています。番組制作にあたっては、会員であること、オリエンテーションを受けていることが必須条件となります。また原則としてご提案いただいた企画を元に、わいわいのプロデューサーとともに、内容をブラッシュアップしていく形になります。オリエンテーションの内容や放送に係る料金など、詳しくは番組募集要領も合わせてご覧ください。お問い合わせ、ご相談は、わいわい事務局までメールでお送りください。お待ちしております。

## 行事のお知らせ！！！！

2017年4月から6月に開催予定の行事を3つお知らせします。いずれもたかとりコミュニティセンター、カトリックたかとり教会が会場です。ぜひいらしてください。準備片付けをお手伝いいただける方も大募集！詳しくはわいわい（fmyy@tcc117.jp）まで！

### 春のメディア園遊会

'17 4/22 (土) 17時→20時

2009年4月25日に第1回放送を開始し、4月22日（土）に第120回放送を迎える「ゆうかりに乾杯」。兵庫高校卒業生で構成される「ゆうかり放送委員会」の提供で、毎月第4土曜日に生配信されています。そのゆうかり放送委員会の総会に合わせて、毎年恒例となっているバーベキューパーティーが今年も実施されます。今年もわいわい「春のメディア園遊会」として、FMYYの会員であればどなたでも参加可能となっております。ぜひ足をお運びください。

参加費：大人 2000円 学生 200円

※要事前申込。4月13日（木）までにわいわい事務局（fmyy@tcc117.jp）へ

### たかとり教会 TCC 再生再開 10周年

'17 5/28 (日) 10時半→14時

震災後、長くペーパードームとプレハブの形で続けてきた教会とTCC。再建され、今年で10年の月日が経ちます。変わらぬ顔もあれば、震災の時の活動を知らない仲間もいます。教会・TCC・地域は別々ではなく、ひとつであることを改めて肌身で感じたいと企画された記念イベントです。当日は屋台やステージで、にぎやかに迎えます。

参加費：無料 お申込はいりません。

### NPO 法人エフエムわいわい総会

'17 6/17 (土) 14時開始(予定)

2016年度の報告と2017年度の計画をお知らせします。議決権は正会員ですが、どなたでもご参加いただけます。ぜひわいわいの活動を確認にいらしてください。

**毎週土曜（第5週をのぞく）は12時からワンコイン番組も実施！合わせてご参加ください！**

## 会員募集！更新もお待ちしています！



コミュニティメディアは、コミュニティの支えがなくては存続できません。ぜひ会員となりわいわいを支える力となってください。会費という貴重な運営資源が、支える力となっていることはもちろん、手をあげてくださる仲間がいるという事実そのものが、本当に心強く、会費納入のお知らせを応援メッセージと思い、お受け取りしています。存在が貴重だというだけでなく、「わいわいならでは」の配信をもっともっと楽しんでもらえるよう、続けていきます。小さな声を伝えるメディアを、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



## 1.17 KOBE に灯りを in ながた ... 長田の風物詩です

実行委員長 和田幹司さんのレポートです。



「1.17KOBEni 灯りを in ながた」。新長田駅前でのこの追悼行事は 1999 年からはじまり、今回で 19 回目です。FM わいわいのサテライトスタジオは、今までと変わらず会場に設置され、インターネット放送の活用のほかに、災害対応の地上波ミニラジオの実験もありで、新機軸もできました。

ここ数年、中学生、高校生が先頭に立って、会場づくりや、募金あつめで協力してくれています。会場を長年よく見てくれている参加者からは「新長田駅前の会場にいくと、追悼の気持ちが静かに感じられるのが一番ですが、若い人の響く声で、募金活動などがあり、これぞ、力をいただく行事です」と言ってくださいます。来てくれている若い人たちからは、「ボランティアで手伝う若者は多くなったがー、会場に追悼で参加してくれる中に、若者は少ない」という指摘が、2月に行った「ふりかえりの会」でありました。次回はなんらかの工夫をしてみたいと思います。

2017 年の行事進行で、うれしかったのは、21 時に消灯し、そこから 1 時間もしないうちに、「会場のあとかたづけ」が完了したことです。「来たときより、きれいな形で駅前会場をお返りする。」この気持ちは例年通りでしたが、残ってくれた数十名の中に、若い方が多かったからのような感じがしました。

追悼に使うろうそくを子供たちに作ってもらっています。昨年は水木小学校が 7 校目として参加してくれました。今年も長田区の定時制高校が、手伝いたいと言ってくれています。7 月からの実行委員会で、メンバーで検討します。募金も 77 万円いただいています。ろうそく集めで長田区仏教会、カトリックたかとり教会など、ろうそく作りで、神戸市の教職員 OBOG の皆さまにお手伝いもいただけるようになっていきます。ありがたいことです。

## 海外へ神戸の経験を繋ぎます

FM わいわいが、インドネシアのジャワ島の活火山、メラピ山の裾野にあるコミュニティラジオ局と繋がりをもって、もう十年になります。阪神淡路大震災からの復興のまちづくりの経験と火山噴火の被災地に暮らす仲間達の復興における経験の学び合いを通じて絆を深めてきた十年でした。

インドネシアには 1000 局を超えるコミュニティラジオ局があり、そのほとんどは村落に集中し、村人がボランティアで活動に従事しています。村役場の中にスタジオがあり、職員も放送を担っている局もありますが、そうした局も運営はボランティアです。商業CMを入れることは、コミュニティラジオの制度を定めた放送法で禁止されていて、地方自治体の予算による保健衛生や防災などに関する広報番組の放送料などの収入と、村人の会費、寄付で成り立っています。経費は電気代、インターネット通信費、機材修理費などで、年間 10~20 万円程度といったところです。放送設備だけをみれば、日本のコミュニティ放送局がプロ野球並みなら、インドネシアのコミュニティラジオ局は草野球レベルです。



しかし、そうしたコミュニティラジオ局は村の人達にとっても大切にされています。

活動しているのは、地元の自主防災組織のメンバー、村役場の職員、農業婦人会のリーダー、村の子ども達など、多種多様です。村でラジオ局の活動が活発になると、同時にそこに集うメンバーそれぞれの活動も活性化し、村全体がイキイキとした様子が見られます。メラピ山の中腹に暮らす住民達が直面する大きな社会問題の一つが災害（火山噴火、土砂災害）です。局の活動を活性化させ、防災メディアとしての能力強化のみならず、伝統芸能の発展や環境保全などコミュニティ活動も活性化させて、災害に負けない強いコミュニティづくりに取り組んでいく、そんな活動のお手伝いを FM わいわいはインドネシアで続けています。

「コミュニティメディアとは 90%のコミュニティ活動と 10%のメディア活動から成り立つ」という、世界のコミュニティメディアが非常に大切にしている定義のような有名な言葉があります。

この言葉、私たちも大切にしていきたいですね。